

5月26日夜 スーパームーン皆既月食

5月26日夜に皆既月食が見られます。今回はスーパームーン（1年で最も大きく見える満月）と重なる珍しい皆既月食で、日本で見られるのは24年ぶりです。天気もよさそうなので、中間テストに向けての勉強の息抜きにぜひ観測してみましょう。

☆いつ、どこで見られる？

今回の月食は日本全国で観測できます。東京の空を例に見てみると、南東の空あたりで18時44分に部分食が始まり、時間とともに月はどんどん高くなっていきます。20時9分あたりで皆既食が始まり、20時18分あたりで食の最大を迎えます。そして20時28分ごろに皆既食が終わります。

☆スーパームーンとは？

月は地球の周りを公転していますが、月の軌道は楕円形になっているため、地球と月の距離は一定ではありません。5月26日の満月は、2021年で最も地球に近い距離にあり、1年で最も大きく見える満月（スーパームーン）です。

スーパームーンと月食が重なる皆既月食は珍しく、次回起こるのは約12年後の2033年10月8日です。

☆月食はどうして起こるの？

地球と月は太陽の光を反射して輝く天体です。地球にも太陽の光による影があり、太陽とは反対の方向に伸びています。この地球の影の中を月が通過することによって、月が暗くなったり、欠けたように見えたりする現象が「月食」です。

☆月食はどうして赤いの？

地球のまわりには大気があります。太陽光が大気の中を通過する際、波長の短い青い光は空気分子によって散乱され、大気をほとんど通過することができません。一方、波長の長い赤い光は散乱されにくく、光は弱められながらも大気を通過することができます。これは、朝日や夕日が赤く見えるのと同じ理由です。また、大気がレンズのような役割を果たし、太陽光が屈折されて本影の内側に入り込みます。このかすかな赤い光が皆既食中の月面を照らし、月が赤黒く見えるのです。

